

# 肺がん検診のススメ

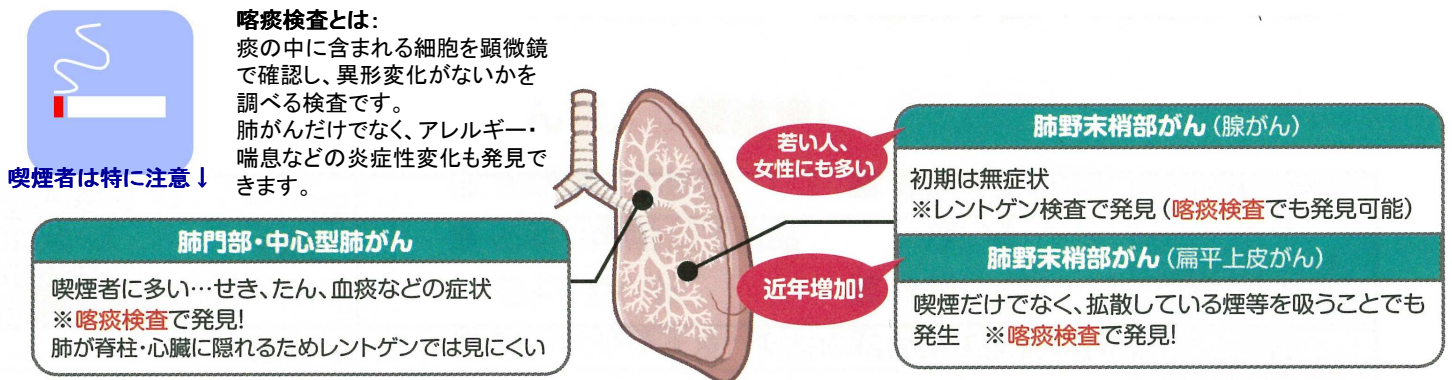
がんで亡くなる方のうち、**肺がんが一番多い。**

肺がんで毎年70,000人が亡くなっていて、がんの死亡原因では**第1位**です（男性：1位、女性：2位）。罹患数（肺がんになる人の数）も93,000人を超え増加傾向にあります。

肺は生命維持に欠かせない呼吸をする大切な臓器ですが、痛みを感じることがないため、**肺がんの早期発見のためには定期的な検診を受けることが必要**です。

肺がんの早期発見には**レントゲン検査と喀痰検査の併用が有効**。

肺がんの主な原因はタバコであることはよく知られていますが、早期発見のための検査方法についてはあまり知られていません。**特に喫煙者に多い中心型肺がんは、胸部レントゲン検査だけでは見つかりにくく、喀痰検査が唯一のスクリーニング方法**です。



大気汚染による肺の疾患は**今後さらに増加が予想**されます。

「PM2.5」という言葉をニュースでよく聞くようになりました。とても細かい粒子ですので肺の奥深くまで届きやすく、これにより**肺の炎症や疾患が増える**と予想されています。

マスクなどで防御すると同時に、気になる方は**喀痰検査**を受けて、疾患の早期発見・早期治療をしてください。



## セルフチェック！ こんな方は検診を！

- ◇ 喫煙している（特に喫煙指数600以上：タバコ1日平均20本×30年間吸っている）
- ◇ 過去に喫煙していた
- ◇ 家族や職場に喫煙者がいる
- ◇ 胸が痛い
- ◇ 6ヶ月以内に血痰があった
- ◇ 大気汚染が気になる
- ◇ 咳が続いている
- ◇ 息切れがする

当健康保険組合でも、毎年秋に喀痰検査を郵送式で実施しています。気になることがある方はぜひ受診してください。